

SHIRAKOBATO

# しらこぼと



1999. 3

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 179

日本野鳥の会 埼玉県支部

# 彩湖は猛禽と水鳥と小鳥たち……

海老原美夫（浦和市）

今年の1月号に山部直喜編集部長が彩湖のことを少し書いたら、事務局にお問い合わせが何件ありました。今回は私の方から詳しくご紹介しましょう。

## ■道満？荒川第一調節池？彩湖？

昔からの野鳥情報を見ると、「戸田市道満河岸」「道満グリーンパーク」「戸田市道満の荒川第一調節池」「彩湖」など、いろいろと書かれていますが、これらはすべてほとんど同じ地域のことです。

昔々の大昔、今は「生きている化石」と呼ばれるバードウォッチャーが歩き回っていたころは、荒川の左岸に広がるこの一帯は「道満河岸」と呼ばれる大変にワイルドな低湿地のフィールドで、一日中他のバードウォッチャーに一人も会うことのない僻地でした。

その後、釣り堀を含めた一帯が「道満グリーンパーク」という公園として整備され、その公園と荒川本流との間の河川敷に、洪水時の水位調節と水道水確保を目的とした広大な荒川第一調節池が、建設省によって作られました。その荒川第一調節池がようやく完成して一般の立入ができるようになったのが、1997年春。その際に一般公募でつけられた愛称が、「彩湖」という名前です。

工事が進められていた時は一応立入禁止ということになっていましたので、当支部としては探鳥会も開催せず、支部報の上で詳しく紹介することも遠慮していたわけです。

現在「彩湖」は、大部分は戸田市に含まれますが、一部北の方は浦和市に、南の方は和光市にまたがり、多くのバードウォッチャーが訪れるフィールドになっています。



ハジロカイツブリ

## ■アクセス

武蔵野線西浦和駅を降りて、新大宮バイパスを渡って武蔵野線沿いに西に向かうと、徒歩15分ほどで荒川の堤防に出ます。堤防から左手、南の方を見ると、もう彩湖の水面が見えます。彩湖の北端に出たわけです。

浦和駅西口と志木駅北口の間を往復している国際興業バスに乗って、「さくら草公園」で下車。鴨川の橋を渡って堤防の上を南に歩き武蔵野線を越すと、徒歩10分ほどでやはり彩湖の北端が見えてきます。

彩湖の南側の方に行きたい時は、南浦和駅から武蔵浦和駅・道満グリーンパーク經由下笹目行き国際興業バスに乗って、「グリーンパーク」下車。目の前の堤防を越えると公園が広がっています。公園内左手の池を覗いたりしてから西に進むと、彩湖のほぼ中央付近の東岸に出ることができます。

彩湖を周回する道路に自動車を乗り入れることはできません。グリーンパークに駐車場があります。

自転車は乗り入れできます。北端から南端まで4km近い広い地域ですから自転車での行動が最適なのですが、自転車で行ける人は限られてくるでしょうね。ちなみに、私の自宅から彩湖北端付近までは、自転車で約15分です。うらやましいでしょう。

## ■シーズン

最適な季節はやはり猛禽や水鳥類が渡ってくる冬。暖かいお茶を持ってでかけます。

これからの春や秋の渡りの季節は、旅鳥たちが楽しみです。思い掛けない珍鳥が姿を見ることがあり、目を離せません。

夏の間は、コヨシキリのさえずりなどが聞こえたり、時にはチョウゲンボウの繁殖が観察できたりしてそれなりに楽しいのですが、日陰も少ないものですから、他の季節に比べると、少しつらいかも知れません。



# 彩湖Ⅱ

倉林宗太郎（浦和市）

## ● 釣り堀の林に沿って

私の出発は、道満グリーンパークの入り口の土手の上（右写真参照）です。右におりて北駐車場から釣り堀に沿って公園に入ります。この辺り冬には、ウグイス、メジロ、アカハラ、シメ等がいます。さらに進み彩湖に出ると、岸にコサギ、ダイサギ、ゴイサギ、ササゴイ、湖にはカイツブリ、冬にはカンムリカイツブリが多く、ミミカイツブリ、ハジロカイツブリを見ることもあります。

## ● 湖岸の東側を北へ

ここから道を右にとり北に向かいます。すこし行くと釣り堀の端につきます。コチドリやイソシギは水辺に、カワセミも湖岸の縁や木にとまっていることがあるので気をつけましょう。

さらに進むと貯水池機場と土手、その手前に鎖状のブイが見えてきます。ブイのうえにはカワウ、サギ類、カモメ達。この辺り冬には10種以上のカモが来ます。さらに進み土手を越えると、JRの鉄橋と手前にひろがる「風のはらっぴ」にでます。夏はオオヨシキリ等、冬にはホオアカ、コジュリン、アオジ等があります。ここで機場側の土手にのぼって再度カモ達をみましょう。光線の具合がよくてお勧めの場所です。

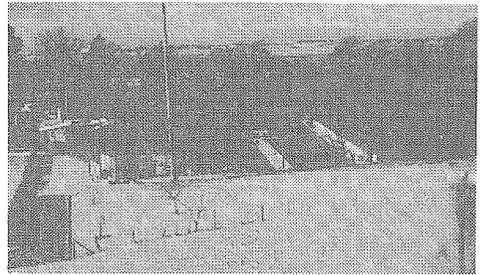
## ● 湖岸の西側を南へ

さてもう一度土手をこえて機場の前を通り西側の道を南へむかいます。しばらく行くと大きなケヤキの木、その先の管理橋そばの林にオオタカが、草原のなかの低い木にはチョウゲンボウが時々みられます。右側に6つほどある浅い池もポイントのひとつです。

## ● 幸魂大橋

さらに南にすすむと幸魂大橋につきます。筏が15、6台ならんでいるのが見えます。ここは36番鉄塔の下と同じでカワウ、アオサギ、カモ達のお宿のようです。この辺りにオオバンが10羽ほどいます。

彩湖は、編集者が思っていた以上にホットスポットです。倉林さんの場合はどうでしょうか、ご自身の観察記録（1992年12月～1998年12月）を交えて語っていただきました。



湖岸のヨシ原全体に言えますが秋にはノビタキ等が、冬にはジョウビタキ、オオジュリン、カンラダカ、アオジ等がみられます。

## ● 管理橋からグリーンパークへ

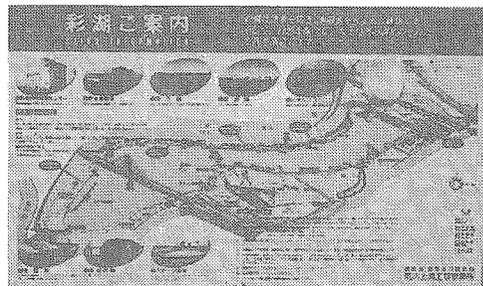
道満グリーンパークに引き返して、公園内の池に行きます。夏には池のまわりのヨシ原にヨシゴイがきます。秋には付近の桜の木にアリスイをみかけたときもありました。

これでおわりです。出発点にもどり、観察用具を片付けて終りの時間を記録して帰路につきます。

## ● おわりに

こんな形で週2回ほど、約3時間ぐらい見歩いています。私の確認数は93種ですが、色々な方々からの情報ではもっと多くの種がきています。これからも楽しんでまいります。

右ページの表は、6年間に私が確認した93種を、季節ごとにまとめたものです。参考としてご覧ください。



◎よく見られる鳥 ○時々みられる鳥 △まれに見られる鳥 ▲一度の鳥

種名	春	夏	秋	冬	種名	春	夏	秋	冬
カイツブリ	◎	◎	◎	◎	セグロカモメ	◎		○	◎
ハジロカイツブリ				△	ウミネコ		○	○	
ミミカイツブリ				△	ハジロクロハラアジサシ			△	
カンムリカイツブリ	◎	△	○	◎	コアジサシ	◎	○		
カワウ	◎	◎	◎	◎	シラコバト	○	△		
ヨシゴイ		○			キジバト	◎	◎	◎	◎
ゴイサギ		○	○	△	カッコウ		◎		
ササゴイ		◎			ツツドリ			○	
ダイサギ	◎	◎	◎	◎	コミズク			△	
コサギ	◎	◎	◎	◎	カワセミ	○	△	○	○
アオサギ	◎	◎	◎	◎	アリスイ			△	
クロツラヘラサギ				▲	コゲラ	△	△	△	○
マガン			△		ヒバリ	◎	◎	◎	◎
マガモ	◎		◎	◎	ツバメ	◎	◎	○	
カルガモ	◎	◎	◎	◎	イワツバメ	○	△		
コガモ	◎		◎	◎	キセキレイ			△	△
ヨシガモ	△			△	セグロセキレイ		△		△
オカヨシガモ	◎		◎	◎	ハクセキレイ	◎	◎	◎	◎
ヒドリガモ	◎		◎	◎	タヒバリ				△
アメリカヒドリ			△		ヒヨドリ	◎	◎	◎	◎
オナガガモ	○	△	◎	◎	モズ	◎	◎	◎	◎
シマアジ			△		ジョウビタキ			○	○
ハシビロガモ	◎		◎	◎	ノビタキ			△	
ホシハジロ	○		◎	◎	アカハラ			△	△
スズガモ			△		ツグミ			◎	◎
キンクロハジロ	○		◎	◎	ウグイス	◎		◎	◎
ホオジロガモ				○	コヨシキリ	△	◎		
ミコアイサ	△		○	◎	オオヨシキリ	◎	◎	○	
カワアイサ	△				センダイムシクイ	△			
トビ		○	△	○	セッカ	◎	◎	◎	◎
オオタカ	△		△	△	シジュウカラ	○		○	○
ノスリ	○		○	◎	メジロ	○		○	○
サシバ			△		ホオジロ	◎	◎	◎	◎
ハイロチュウヒ	○		○	○	コジュリン			△	△
ハヤブサ			○	○	ホオアカ			△	△
チョウゲンボウ	◎	◎	◎	◎	カシラダカ	○		○	◎
コジュケイ			△		アオジ	○		◎	◎
キジ	△	◎	△	○	オオジュリン	○		○	○
バン	△	○	△	○	カワラヒワ	◎	◎	◎	◎
オオバン	○		○	○	ベニマシコ			△	△
コチドリ		◎			シメ	○		○	○
ダイゼン			▲		スズメ	◎	◎	◎	◎
タゲリ			▲		ムクドリ	◎	◎	◎	◎
イソシギ	◎	◎	○	△	オナガ	◎	◎	◎	◎
オオキアシシギ			▲		ハシボソガラス	◎	◎	◎	◎
タシギ			△	△	ハシブトガラス	◎	◎	◎	◎
ユリカモメ	◎	○	◎	◎					

春：3～5月 夏：6～8月 秋：9～11月 冬：12～2月

今さら聞けない質問コーナー

Q：野鳥情報などによく「タカsp.」とあるのを見かけますが、「sp」とは何ですか？何の略語ですか？タカの種類には間違いのない種の特定が困難だった場合に使う、というように勝手に解釈しておりますが。

(上尾市 S. O.)

A：「sp.」とは、species (種) の略語です。鳥に限らず、すべての生物は<界・門・綱・目・科・属・種>という単位で分類されています。たとえば、ハイタカは<動物界・脊索動物門・鳥綱・ワシタカ目・ワシタカ科・ハイタカ属・ハイタカ>、オオタカやツミは、属までが同じハイタカ属、その下位の種が異なる鳥となります。

この分類単位の属まで同定できたが、その次の種が同定できなかった場合、たとえばハイタカ属であることは確かだがハイタカかオオタカか同定できない場合に、<ハイタカ属 sp.、(Accipiter sp.)>とするのが、spの

正式な使い方です。ただ探鳥会や野鳥情報などでは、もう少し拡大解釈され、タカの仲間シギの仲間ぐらいの意味で、タカsp.、シギsp. というように使われているようです。

以前、オオタカsp. という表現を見かけたことがあります。これは明らかに誤った使い方です。正式な報告書や論文などで、こういうミスをする、と、けっこう恥ずかしいので気をつけましょう。(編集部)

◇2月号のQ「クイナの渡り」、編集部ではお手上げ状態です。どなたか解答をお寄せ下さい!



白頭鷲の英名講座 (第22回)

「ピリカ」が禁煙に一役!

アメリカを旅行するといろいろと珍しいものに出会う。

この写真はアラスカ旅行をした鳥友達の土産である。よく見ると、エトピリカのような鳥がタバコをすっており、体を横切る文字が NO PUFFIN と読める。これと同じデザインの看板がレストランでもよく見られる。

バーダーとしては、このトリが気になる。ちょっと図鑑で調べればAtlantic Puffin (ニシツノメドリ) と推定される。では、このNO PUFFINとは、いったいどういう意味だろう。

「ここにはAtlantic Puffinはいないよ」とバーダーなら思うかもしれないが、これはハズレ。正解は「禁煙」。NO SMOKING をやわらかく、発音の類似する Puffing (タバコをプカプカすること) にかけて NO PUFFIN (タバコのプカプカ禁止) と表現したものだ。Puffing実際の発音では、最後のg音はほとんど聞こえず、ツノメドリ属の鳥パフィン Puffin とほぼ同じになる。そこでこの



Puffin君に登場願ってNO PUFFINという禁煙バッジや看板ができたというわけである。

ちなみに、ツノメドリ属のPuffinには世界中でも次の3種類しかいない。

- |                 |         |
|-----------------|---------|
| Atlantic Puffin | ニシツノメドリ |
| Horned Puffin   | ツノメドリ   |
| Tufted Puffin   | エトピリカ   |

なお、エトピリカとはアイヌ語でetu-Pirka (嘴. 美しい) に由来する。かつては北海道東部の海に面した崖などで、そのPirkaな姿を勞せずに見ることができたと言うが、最近ではほとんど見られなくなっているようだ。

(松井昭吾)



- 川本町荒川明戸堰上流 ◇12月20日、コハク  
チョウ53羽、ホオジロガモ♀2羽、アカゲ  
ラ♂1羽、トビ1羽、ノスリ1羽、シメ、  
ツグミ、モズ、タヒバリ (後藤康夫)。◇1  
月17日、コハクチョウ約75羽、ダイサギ1  
羽、アオサギ7羽、ノスリ2羽、ベニマシ  
コ♂♀各2羽。ミヤマホオジロ数羽、カシ  
ラダカと混群で動いていた。アカゲラ♂♀  
数羽、アオゲラ♂1羽 (後藤康夫・喜久子)。  
大宮市日進町1丁目 ◇12月24日、シロハラ  
1羽。12月25日、ヤマシギ1羽。1月5  
日、ビンズイ4羽。1月7日、シロハラ1  
羽。1月13日、ビンズイ3羽、ヒガラ1羽  
(森本國夫)。  
戸田市道満彩湖 ◇12月29日、ヨシガモ♂♀  
各1羽、オオバン、ミコアイサ♀。1月20  
日、ホオアカ、ノスリ、ヒバリ、モズ、ベ  
ニスズメ多数、ミコアイサ♀ (陶山和  
良)。◇1月4日、北の縁でトモエガモ♂  
1羽、やっと憧れのトモエガモに会えた。  
少し遠かったが、はっきり特徴的な顔の模  
様が見えた (鈴木紀雄)。  
東松山市都畿川 ◇1月5日、稻荷橋周辺で  
アカハラ1羽、ツグミ約30羽、カシラダカ  
20羽、シメ50羽、バン2羽、イカルチドリ  
2羽、クサシギ1羽、タヒバリ3羽、ノス  
リ1羽 (後藤康夫)。  
川本町芳沼 ◇1月5日、カルガモ、マガ  
モ、コガモ、トモエガモ♂2羽、オカヨシ  
ガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ホシハ  
ジロ、キンクロハジロ、スズガモ、カワセ  
ミ (後藤康夫)。  
大里村小八林 ◇1月6日午後2時、吹上町

の荒川大芦橋を渡った右側の田んぼでミヤ  
マガラス4羽、電線で休んでいた。くちば  
しがはっきりした白だった。カメラを持っ  
て再び戻りましたが、姿はありませんでし  
た。残念。コミミズク2羽、盛んに飛び回  
り、餌を探す。チョウゲンボウ♀1羽 (逸  
見嶮)。

坂戸市鶴舞 ◇1月7日、高麗川河川敷でベ  
ニマシコ♂1羽、ホオジロガモ♀2羽。1  
月13日、タゲリ3羽 (増尾隆)。

蓮田市黒浜 ◇1月8日、南側の林で、まず  
ジョウビタキ♀1羽、次にルリビタキ♂が  
登場。きれいなブルーに心躍る。カエデの  
枯葉の残る枝でキクイタダキ4羽、逆さにな  
ったり、ホバリングして何かを食べてい  
た。メジロ、シジュウカラ、コゲラの混  
群、カケス2羽、シメ、カワラヒワが姿を  
見せては去って行った。アカゲラが「キョ  
ッキョ」鳴きながら幹をのぼり、コゲ  
ラが「ビービー」と鳴き、ふと上を見ると  
オオタカ通過。これ全部約30分間のできご  
と。大満足でした (鈴木紀雄)。◇1月15  
日、上沼でオシドリ♂1羽。カルガモ等の  
カモ類の中に鮮やかな色どりの鳥1羽。1  
月31日、沼近くの灌木でアカゲラ1羽。こ  
の樹には12月にアリスイがいた。クイナ1  
羽、久々の出現 (田中幸男)。

入間市桜山展望台 ◇1月10日午前10時頃、  
トラツグミ1羽、5~6mに近づいても警  
戒する様子もなく、落葉をひっくり返して  
いた。約3時間後まだ同じ場所にいた。ル  
リビタキ♀1羽 (工藤雅彦)。

坂戸市高麗川 ◇1月14日、多和目橋でホシ  
ハジロ♀1羽、当地初認。頬が全体に淡白  
色の個体 (増尾隆)。

### 表紙の写真

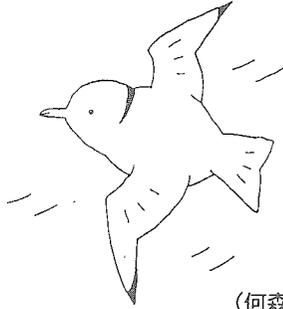
#### トラツグミ (スズメ目ヒタキ科ツグミ亜科)

ただのドアップ写真というのは好きではな  
いのですが、ものはずみというやつです。

あまり時間がとれなかった土曜日。この冬  
初めて、浦和市白幡沼の水場に自転車をとめ  
ました。いつものオナガやウグイスの水浴び

を見ていたら、突然あらわれたのがコイツで  
す。雨なし日が40日以上続いていた時です。  
多分彼がいつも利用している水場が枯れてしま  
い、ここまで飛んで来たんだと思うんで  
す。 自転車の鳥見人 (編集部)

# 行事あんない



(何森 要)

特別な場合を除いて予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費は一般100円。会員と中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時頃。小雨決行です。

自然保護のため、できるだけ電車バスなどをご利用のうえ、指定の集合場所までおいでください。

## 寄居町・玉淀河原探鳥会

期日：3月7日(日)

集合：午前9時10分、秩父鉄道寄居駅南口前広場。

交通：秩父鉄道熊谷8:34発。または東武東上線川越8:01発(小川町乗り継ぎ)にて寄居下車。

担当：小池、林、小淵、中島(章)、井上、松本、後藤、喜多

見どころ：早春の寄居路は水も温み、梅も満開。今年もヤマセミ、カワセミとの出会いが楽しみです。オシドリも期待しましょう。河原を歩きます。足ごしらえはしっかりと。

## 大宮市・染谷見沼自然公園探鳥会

期日：3月7日(日)

集合：午前8時15分、JR大宮駅東口「こりすのトトちゃん」像前。または午前9時15分、見沼自然公園駐車場(浦和さぎ山公園南西隣)。

担当：工藤、楠見、浅見(徹)、兼元、森、吉岡(洋)、日根、山口

見どころ：この探鳥会とほぼ同じコースでの観察記録を取り始めて以来7年。確認数は92種。もう少しで100種です。当日は、早春の見沼たんぽを歩きながら皆さんの目で1種でも増やしてください。シジュウガラ・ウグイス・ヒバリのさえずりが春を告げています。

## 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：3月14日(日)

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。

交通：秩父鉄道熊谷9:11発。または寄居9:03発に乗車。

担当：和田、森本、中島(章)、石井(博)、倉崎、松本、中里、高橋

見どころ：春のはじまりです。寒い間楽しんでくれたコハクチョウをはじめ、他の冬鳥達もそろそろ北へ出発するところです。やさしく見送ってあげましょう。大空にはきっと猛禽類も舞い上がることでしょう。3月はそういう月です。

## 坂戸市・高麗川探鳥会

期日：3月21日(日・祝)

集合：午前9時、東武東上線川角駅前。

交通：東武東上線川越8:24→坂戸にて越生線乗換え8:43発。または寄居7:26→小川町乗継ぎにて坂戸乗換え。JR川越線大宮7:55→川越にて東武東上線乗換え。

担当：藤掛、高草木、石井(幸)、青山、久保田、志村、増尾、佐藤(壯)、上野、林(久)、吉田(時)

見どころ：春うらら、野鳥達はカップルで巣作り、梅も咲き、桜の蕾もふくらむ頃になりました。昨年の3月初めの会では鳥合わせ中にヤマセミがご挨拶に飛来。今回は2週間遅れで春分の日の探鳥会、高麗川でお会いしましょう。

### 浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：3月21日（日・祝）

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時、浦和市立郷土博物館前。

後援：浦和市立郷土博物館

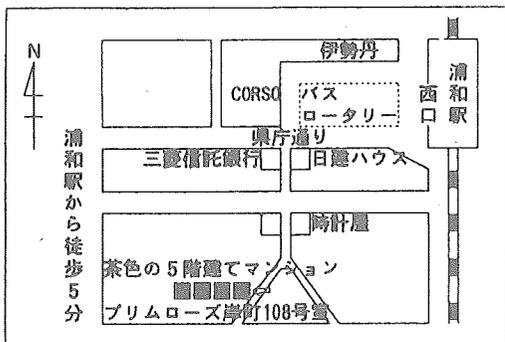
担当：楠見、福井、手塚、伊藤、渡辺（周）、笠原、倉林、若林、岡部、兼元、森、清水、前澤

見どころ：冬鳥と夏鳥が交差してくれる季節です。見沼たんぼでは、モモ、レンギョウ、ハクレンの花が咲き誇る。ここも、先月で100回を迎えて楽しい思い出を参加者に与えてくれています。今年には三室の歴史を少しずつ勉強してはいかがでしょうか。

### 『しらべと』袋づめの会

とき：3月27日（土）午後1時～2時ごろ

会場：支部事務局108号室



### 栃木県・日光東照宮裏山探鳥会

期日：3月27日（土）

集合：午前9時20分、東武日光駅前。

交通：東武日光線春日部7:42発（快速）に乗車、東武日光9:10着。

解散：午後2時頃、日光東照宮前。

担当：中島（康）、福井、櫻庭

見どころ：春の一日を、神橋の前から東照宮裏山を川の流りに沿って滝尾神社迄歩くすっかりお馴染みのコースです。ミソサザイ、カワガラスが定番ですが昨年は37種も出現して楽しませてくれました。さて今年はどうかな。

### 長瀨町・宝登山探鳥会

期日：3月28日（日）

集合：午前9時40分、秩父鉄道長瀨駅前。

交通：秩父鉄道熊谷8:34発、または西武鉄道所沢7:44発にて秩父鉄道乗り入れ。

担当：小池、佐久間、青山、林、岡野、井上、堀、堀口

見どころ：春到来の宝登山、鳥たちは春を告げてさえずっています。桜のつぼみや樹木の新芽を食べにたくさん集まっています。ウソやマヒワなど。山頂まで2時間のハイキングを楽しみましょう。

### 行田市・さきたま古墳公園探鳥会

期日：3月28日（日）

集合：午前9時30分、県立さきたま資料館前レストハウス。

交通：JR高崎線吹上駅北口より、東武バス行田車庫（佐間経由）行き8:55発に乗車、「産業道路」下車、徒歩約15分。

担当：内藤、岡安、榎本、和田、立岩、石井（博）、松本、島田

見どころ：朝夕はまだ寒い日もたまにあるけれど、春は到来しています。行く鳥、来る鳥を古墳の周辺をのんびり歩きながら楽しみましょう。さきたまの春に何種出てくれるかな、楽しみに出かけてください。

### 狭山市・入間川定例探鳥会

期日：3月28日（日）

集合：午前9時、西武新宿線狭山市駅西口。

交通：西武新宿線本川越8:42発、または所沢8:36発に乗車。

解散：正午ごろ、稲荷山公園にて

担当：長谷部、高草木、藤掛、石井（幸）、小野、中村（祐）、山本、久保田、上野

見どころ：川面を渡る風もだいぶやさしくなってきました。空駆けるツバメやカタクリの花を見て、あわただしい日常を忘れ、春に浸りましょう。

# 行事報告

12月20日(日) 浦和市 三室地区

参加: 72人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ オナガガモ ハシビロガモ ヒドリガモ オオタカ トビ チョウゲンボウ キジ バン タシギ ユリカモメ キジバト カワセミ コゲラ ハクセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (34種) 鳥見の納めはこの探鳥会という参加者が多くてうれしい。鳥見を今年始めた人の満足した年の暮れ。鳥たちも大サービスで、カワセミが芝川の土管の上にじっと止まっていたりして。また、青空には、オオタカ、トビ、電柱にチョウゲンボウが出現。ご苦労さんの声にリーダーはささやかに喜んだ。(楠見邦博)

12月23日(水、休) 年末講演会

場所: 県民活動総合センター 参加: 91人



今年も多くの会員にお集まりいただいた。まずは海老原事務局長のビデオ「今年の出来事」。12月に亡くなった新堂幹事のご冥福を祈りながら、支部の1年を振り返る。続いては、はるばる愛知県からお越しいただいた写真家の山形則男氏の講演。長年撮りためたスライドを使いながら、日本産ワシタカ類のほぼ全種について、性別・年齢までにわたる識別について解説を受ける。経験に裏打ちされたお話はさすがに内容が濃く、予定の時間が

短すぎるくらいだった。山形氏には懇親会にもご参加いただき、参加者それぞれ年忘れの一時を楽しく過ごすことができた。(榎本秀和)

1月9日(土) 久喜市 久喜葛蒲公園昭和池

参加: 22人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ マガモ カルガモ コガモ ヨシガモ オカヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ ミコアイサ トビ バン オオバン キジバト コゲラ ハクセキレイ ヒヨドリ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ アオジ オオジュリン カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (34種) 初めてのチーフリーダーで緊張しながらのスタートとなった。よく晴れてはいるが冷たい強風の最中、池の中央にミコアイサの♂を発見。瞬時に寒さを忘れさせてくれた。トモエガモの出現を期待しながら前進するが、現われず終い。メジロ、アオジ等が飛び交う中、鳥合わせ場所に到着。そこでヨシガモの♂を眺めることが出来たので満足とする。(大坂幸男)

1月10日(日) 千葉県 船橋海浜公園

参加: 26人 天気: 快晴

ハジロカイツブリ カンムリカイツブリ カワウ アオサギ マガモ カルガモ ヒドリガモ オナガガモ ホシハジロ スズガモ ホオジロガモ ウミアイサ トビ チョウゲンボウ シロチドリ ハマシギ ユリカモメ セグロカモメ カモメ キジバト ヒバリ ハクセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ツグミ セッカ メジロ オオジュリン スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (33種) スズガモの群れの中にウミアイサがいたが、すぐに潜るのでいろいろしながら観察。すぐ後の鉄柱の上にチョウゲンボウが止まっていた。終了後、ほとんどの人がハヤブサとミヤコドリを見た。三番瀬は期待に届いてくれませぬ!! (杉本秀樹)

1月10日(日) 北川辺町 渡良瀬遊水地

参加:51人 天気:晴

カイツブリ ハジロカイツブリ カンムリカイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ マガン マガモ カルガモ コガモ トモエガモ オカヨシガモ ヒドリガモ アメリカヒドリ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロ ハジロ ミコアイサ カワアイサ トビ オオタカ ノスリ チュウヒ ハヤブサ イカルチドリ シロチドリ タゲリ タシギ セグロカモメ シラコバト キジバト ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン カワラヒワ ベニマシコ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (55種) テレビ取材があったためリーダーは緊張していたが、晴天で風もなく絶好の天気の中スタートした。谷中湖でマガンが出現して盛り上がった後、予定通り急いでカモ類を見て、鷹見台へと急いだ。期待に違わずノスリ、チュウヒ、トビの飛翔に加えて、ハヤブサの勇姿も見られた。55種の出現鳥。やはり渡良瀬はすごい。(玉井正晴)

1月10日(日) 春日部市 内牧公園

参加:34人 天気:快晴

カワウ コサギ タゲリ キジバト コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ルリビタキ シロハラ ツグミ ウグイス セッカ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (28種) 開始挨拶中にタゲリが9羽上空に飛来し、幸先がよい。氷結した池の周りでシメ、セグロセキレイ、ツグミをじっくりみる。公園内の橋上で刈田の中のタゲリに見入り離れがたく、竹林の小道ではヒバリ、タヒバ리를観察する。期待した冬鳥は大体出現してくれて、予定時間をオーバーする程で、みんな満足。(吉安一彦)

1月16日(土) 吉見町 吉見百穴

参加:37人 天気:快晴

カイツブリ カワウ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ハシビロガモ オオタカ ハイタカ キジバト カワセミ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ

ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (31種) 朝からよく晴れわたり、風もなく暖かい。こんな日に野外を散策するのは本当に気持ちの良いものだ。大沼は水位が低く、カモの姿もまばら。西側の林はすっかり刈り払われ、公園か何かの造成中のように見える。周辺の景観がどのように変わっていくのか、見守っていききたい。(榎本秀和)

1月21日(木) 滑川町 武蔵丘陵森林公園

参加:29人 天気:晴

カワウ ゴイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ トモエガモ ヒドリガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ オオタカ ノスリ アオゲラ コゲラ ハクセキレイ セグロセキレイ ビンズイ ヒヨドリ モズ ルリビタキ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス キクイタダキ エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (38種) 開始早々、入口の木にノスリが止まり全員興奮。途中、シロハラ、ビンズイ等を見ながら行くと、ルリビタキの雄が2度3度と皆の前に顔を見せる。空にはオオタカ、ノスリが飛び、山田大沼には、トモエガモが姿を見せた。

(櫻庭 勇)

1月23日(土) 大宮市 花の丘公園

参加:40人 天気:晴

カワウ ダイサギ コサギ カルガモ タカsp クイナ タゲリ キジバト アカゲラ コゲラ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (29種) 風もなくポカポカの冬の日。好天に浮かれて、山の小鳥たちは何処かへ遊びに行ったのか、種類も数も少なかった。そんな状況を救ってくれたのが、1羽のジョウビタキ♂。全員の目の前で、じっくりと美しい姿を披露してくれた。ここでは初認のクイナが現われ、アカゲラ、シロハラを見た人もいて、終わってみればまずまずの探鳥会だったかな。

(浅見 徹)

連絡 中長

●湿地保全運動・その後

1月26日付け読売新聞などの報道によれば、先に環境庁が理め立てに反対の立場を表明した藤前干潟について、名古屋市がついにごみ処分場建設を断念する方針を固め、更なるその後の報道では、環境庁は同干潟を国設鳥獣保護区に指定するための作業に着手、将来的にはラムサール条約への登録も目指すとのこと。

また、千葉県知事の諮問機関、県環境会議に1月25日提出された県の報告書によると、1993年に立案された下水道処理場などを整備する三番瀬埋め立て計画は、干潟の9割以上が消失するなど、水鳥などに深刻な被害を与え、谷津干潟にまで深刻な影響が及ぶことが指摘されて、計画の抜本的再検討の可能性も出てきました。

一方、諫早湾をめぐる活動も粘り強く続けられ、「諫早湾一万人の思い実行委員会」が長崎県内の新聞への意見広告と一言集出版を目指し、当支部の探鳥会などでもキャンペーンチラシの配布を行いました。

●大麻生駅の看板塗り替え

毎月第2日曜日の定例探鳥会開催地、秩父鉄道大麻生駅のホームに、大麻生の探鳥地を紹介する古い看板が立っていたことはご存じですか。これは、今井昌彦初代支部長が、支部発足当時に秩父鉄道と折衝して設置したものです。

その看板が古くなったことから秩父鉄道側から相談されて、塗り替え費用は当支部が負担するかわりに、通常であれば年間何十万円か掛かる掲出料を、秩父鉄道が無料扱いにするとのこと厚意を得て、この度、文章も変えて新しくなりました。

大麻生駅に降りた時には、どうぞ御覧ください。

●探鳥会活動などをテレビで紹介

1月10日(日)の渡良瀬遊水地探鳥会や、会員の海老原美夫(浦和市)、佐久間孝夫

(浦和市)、山岸昭治(秩父市)3氏の野鳥に関する活動が取材されて、1月30日(土)午前9時から30分間、東京テレビ(12チャンネル)から、『さわやか彩の国-自然に溶け込もう!バードウォッチング』というタイトルで放送されました。

●今月もまた、ごめんなさいコーナー

前月号5ページ、大友慎也さんの野鳥情報で「浦和市大谷本郷」とあるのは、「上尾市大谷本郷」の誤りでした。

●3月の事務局 土曜と日曜の予定

- 13日(土) 編集会議、研究部会議。
- 14日(日) 役員会議。
- 20日(土) 校正作業。
- 27日(土) 袋づめの会。

●会員数は

2月1日現在3,079人です。

活動報告

- 1月16日(土) 編集会議、研究部会議。
- 1月17日(日) 役員会議(司会:倉林宗太郎、カワウに関する関東地区集会への参加者・福井恒人幹事-県鳥獣保護員-による鳥獣捕獲の実態等に関する説明・その他)。
- 1月23日(土) 2月号校正(海老原美夫)。
- 2月1日(月) 2月号発送(海老原美夫)。

編集後記

2月初め、積雪1.5m、最低気温マイナス10度。長野県白馬村の山小屋「にはめの一步」に、アニマルウォッチングに行ってきました。夕方6時少し過ぎころから、チビリチビリとうまい日本酒をやっている窓のすぐ向こうに、テンが姿を見せてくれます。キツネとタヌキもたっぷり撮影できました。夜が明けると、10羽近くものアカゲラが飛びまわり、アオゲラ、カケスなどがひっきりなし。梢から梢へとリスは走り回り、林道ではサルとも出会って、撮影できた哺乳類5種。ハギマシコのおまけ付きでした。(海)

『しらこぼと』1999年3月号(第179号) 定価100円(会員の購読料は会費に含まれます)  
 発行人 中島康夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460  
 〒336-0012 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 00190-3-121130  
 インターネットホームページ <http://www.bekkoame.or.jp/ro/wbsj-saitm/>

住所変更・退会などの連絡先 〒151-0061 渋谷区初台1-47-1 小田急西新宿ビル1階  
 (財)日本野鳥の会会員センター業務室 TEL 03-5358-3511 FAX 03-5358-3608

印刷 関東図書株式会社 (本誌掲載記事は上記ホームページに転載されることがあります。  
 本誌から、またはホームページからの無断転載は、かたくお断わりします) 再生紙使用